

米国 : SolarCity 社、太陽光発電資産担保証券を発行¹

新エネルギー・国際協力支援ユニット

新エネルギーグループ

近年、米国では太陽光パネルの価格の低下により設置の経済性が向上したことから、住宅・商業ビル用ルーフトップ太陽光発電システムの導入が急速に進展し、今後も成長すると予測されている。

住宅用ルーフトップ太陽光の導入は、初期設置コストを負担できる中産階級が主体となってきたが、設置コストを負担出来ない低所得層も広く存在する。また、商業ビル用ルーフトップ太陽光システム設置に要する大きな初期費用を望まない中小商業ビルの所有者もいる。

2006 年、太陽光発電のカスタム・デザイン、システム設置、プロジェクト・マネジメント等のサービスを提供する会社として設立された SolarCity 社は、これらの顧客に対して初期費用負担なしでルーフトップ太陽光発電システムを設置し、対価として顧客から太陽光発電システムのリース料、または、発電量に応じた電力料金を受け取るというビジネスモデルをつくり、米国の分散型太陽光分野で急成長を遂げてきた。

SolarCity 社は本年 11 月、顧客のルーフトップ太陽光システムから得られるリース料、電力料金等を担保とする、総額約 54 百万ドル、利回り 4.8% の太陽光発電資産担保証券² (asset backed security) を売り出し、完売した。

今回、SolarCity 社が発行した資産担保証券は、低コストの資金調達を可能とすることから、今後、Sunrun 社等、SolarCity 社と同様なビジネスモデルを展開する企業も同じ動きをとると想定されている。また、資産担保証券は分散型太陽光発電のみならず、小規模な太陽光発電プロジェクト、財務基盤の弱い太陽光発電事業者にも低コストの資金供給を可能にするため、今後、このような事業者による発行の意欲が高まることが予想されている。

¹ 本稿は経済産業省委託事業「国際エネルギー使用合理化等対策事業（海外省エネ等動向調査）」の一環として、日本エネルギー経済研究所がニュースを基にして独自の視点と考察を加えた解説記事です。

² SolarCity Press Release 参照

<http://investors.solarcity.com/releasedetail.cfm?ReleaseID=807221>

<http://investors.solarcity.com/releasedetail.cfm?ReleaseID=808982>

Standard & Poor's Report 参照

http://www.standardandpoors.com/spf/upload/Ratings_US/SolarCity_LMC_11_11_13.pdf

更に、資産担保証券は市場において売買されることから、太陽光発電事業全般に幅広い層の投資家を呼び込む効果も期待される。

しかしながら、資産担保証券が適切に発行され、幅広い投資家が参加する資産担保証券の流通市場が形成されるようになるには、発行の仕組み、市場運営方法等、整備しなければならないことが多い。米国エネルギー省と国立再生可能エネルギー研究所 (National Renewable Energy Laboratory) は、Solar Access to Public Capital (SAPC) 作業部会を立ち上げ、そのなかで太陽光発電システム・リース契約および太陽光発電電力売買契約の標準化、太陽光発電システム出力評価データベース、信用破綻リスクについて検討を重ねている³。

これまで米国の太陽光発電プロジェクトへの資金供給は主に、エネルギー関連企業、銀行、および連邦政府によって担われてきた。生まれたばかりの太陽光発電資産担保証券が、今後、米国において新しい資金調達手段としてどのように発展していくのか、また、米国以外の国でも太陽光発電資産担保証券が生まれるのか⁴、大いに注目される。

お問い合わせ : report@tky.ieej.or.jp

³ NREL Report “Financing U.S. Renewable Energy Projects Through Public Capital Vehicles; Qualitative and Quantitative Benefits” 参照

⁴ 中国の太陽光電池メーカー、Hanergy Solar Group 社の Financial Statement に、「太陽光発電プロジェクトの資金調達方法として太陽光発電資産の証券化 (securitization) を検討している」と記されている。
<http://iis.aastocks.com/20130322/001611382-0.PDF> 参照